

2019年8月1日

日本生命保険相互会社

ニッセイ インターネットアンケート ～「消費増税」について～

日本生命保険相互会社(社長:清水博)は、「ずっともっとサービス」のサンクスマイルメニューのひとつとして、ホームページ(<https://www.nissay.co.jp>)内の「ご契約者さま専用サービス」にて、「消費増税」に関するアンケート調査を実施いたしました。

《アンケート概要》

- 実施期間：2019年7月1日(月)～7月7日(日)
- 実施方法：インターネットアンケート(「ずっともっとサービス」のサンクスマイルメニュー)
- 回答者数：5,433名(男性:2,906名、女性:2,527名)

<年代別回答者数>

[名]

年代							合計
	～20代	30代	40代	50代	60代	70代～	
男性	172	390	689	883	538	234	2,906
女性	189	374	543	717	457	247	2,527
合計	361	764	1,232	1,600	995	481	5,433
占率	6.6%	14.1%	22.7%	29.4%	18.3%	8.9%	100.0%

《アンケート結果のポイント》

ポイント①

質問 1～4

【消費増税について】

- 消費増税について「仕方がないことだ」と回答した方が、**全体で最も多かった**。一方で20代以下の約6割の方が「できれば見送りたい」「絶対やめてほしい」と回答した。
- 「良いことだ」「仕方がないことだ」と回答した理由は、「社会保障制度が心配だから」と回答した方が、約8割となった。
- 「できれば見送りたい」「絶対やめてほしい」と回答した理由は、「家計を圧迫するから」と回答した方が、約6割となった。
- 年代が下がるほど、消費増税の先延ばしを希望する方が多い傾向となった。

ポイント②

質問 5～7

【消費増税に伴う景気動向について】

- 消費増税によって景気が「悪くなる」と回答した方が47.9%となり、一方で「変わらない」と回答した方は49.1%となった。
- 消費増税に伴って、「節約する」と回答した方は、全体の約6割となった。
- 消費税の望ましい税率は「5%」と回答した方が、約3割と最も多かった。

ポイント③

質問 8～10

【消費増税に伴う駆け込み需要について】

- 消費増税を見越した「買い物をする(した)」と回答した方は28.8%となり、8%への増税前に実施した、2014年のアンケートと比較して、4ポイント減少した。
- 買う物として最も多かったのは、今回と2014年と同様に「家電製品」となった。
- 消費増税を見越した買い物をしない理由は、「増税後にセールがありそうだから」が22.1%と最も多かった。

質問 1 消費増税についての考えを教えてください (回答者数 : 5,433 名)

質問 2 【質問 1 で「良いことだ」「仕方がないことだ」と回答した方への質問】

その理由は何ですか? (回答者数 : 2,620 名)

質問 3 【質問 1 で「できれば見送りしてほしい」「絶対やめてほしい」と回答した方への質問】

その理由は何ですか? (回答者数 : 2,529 名) ※複数回答可

質問 4 【質問 1 で「できれば見送りしてほしい」と回答した方への質問】

いつ頃なら良いと思いますか? (回答者数 : 1,602 名) ※複数回答可

- 消費増税について「仕方がないことだ」と回答した方が、全体で最も多かった。
- 20 代以下の約 6 割の方が「できれば見送りしてほしい」「絶対やめてほしい」と回答した。
- 世帯年収に比例して「良いことだ」「仕方がないことだ」の回答率が増加傾向にあり、世帯年収が 1,500 万円超の方々では 7 割以上を占めた。
- 「良いことだ」「仕方がないことだ」と回答した理由は、「社会保障制度が心配だから」と回答した方が、約 8 割となった。
- 「できれば見送りしてほしい」「絶対やめてほしい」と回答した理由は、「家計を圧迫するから」と回答した方が、約 6 割となった。
- 年代が下がるほど、消費増税の先延ばしを希望する方が多い傾向となった。

■消費増税についての考え (年代別)

(%)

	全体						
	~20代	30代	40代	50代	60代	70代~	
良いことだ	4.6	4.7	3.4	4.2	4.8	4.3	7.3
仕方がないことだ	45.3	33.0	47.3	45.1	46.2	48.0	43.0
できれば見送りしてほしい	30.5	31.3	29.1	30.8	31.9	30.5	26.4
絶対やめてほしい	19.7	31.0	20.3	19.8	17.1	17.2	23.3

全年代で「仕方がないことだ」が最も多い

20 代以下の約 6 割の方が「できれば見送りしてほしい」「絶対やめてほしい」と回答した

■消費増税についての考え (世帯年収別)

(%)

	全体						
	~300万	300~500万	500~700万	700~1,000万	1,000~1,500万	1,500万~	
良いことだ	4.6	5.6	3.3	4.4	3.2	6.2	10.4
仕方がないことだ	45.3	35.2	43.6	45.9	49.5	57.5	64.0
できれば見送りしてほしい	30.5	32.3	32.9	31.3	30.9	23.9	14.0
絶対やめてほしい	19.7	26.9	20.1	18.5	16.5	12.5	11.7

世帯年収に比例して、「良いことだ」「仕方がないことだ」の回答率が増加傾向にある

■ 「良いことだ」「仕方がないことだ」と回答した理由（年代別）※複数回答可

(%)

順位	理由	全体	年代別					
			～20代	30代	40代	50代	60代	70代～
1位	社会保障制度が心配だから	79.7	72.3	73.8	79.5	83.2	80.8	80.3
2位	諸外国ではもっと消費税率が高い国もあるから	19.3	22.3	23.8	18.7	18.5	19.4	14.0
3位	消費税率が10%の方が計算しやすいから	7.8	13.1	10.3	9.0	7.1	4.4	7.5

全年代・年収で「社会保障制度が心配だから」と回答が約 8 割

■ 「良いことだ」「仕方がないことだ」と回答した理由（世帯年収別）※複数回答可

(%)

順位	理由	全体	世帯年収別					
			～300万	300～500万	500～700万	700～1,000万	1,000～1,500万	1,500万～
1位	社会保障制度が心配だから	79.7	77.8	79.0	79.0	81.7	83.9	76.7
2位	諸外国ではもっと消費税率が高い国もあるから	19.3	16.1	18.6	19.2	22.4	18.3	23.9
3位	消費税率が10%の方が計算しやすいから	7.8	7.1	10.6	7.2	7.9	5.1	5.7

■ 「できれば見送りしてほしい」「絶対やめてほしい」と回答した理由（年代別）※複数回答可

(%)

順位	理由	全体	年代別					
			～20代	30代	40代	50代	60代	70代～
1位	家計を圧迫するから	61.9	58.3	69.4	63.7	59.8	57.0	65.5
2位	景気が悪くなると思うから	31.2	22.3	28.6	30.1	35.0	35.6	25.0
3位	増税しても財源不足は変わらないと思うから	30.9	27.7	33.7	34.7	33.2	24.5	24.1

全体の約 6 割が「家計を圧迫するから」と回答

■ 「できれば見送りしてほしい」「絶対やめてほしい」と回答した理由（世帯年収別）※複数回答可

(%)

順位	理由	全体	世帯年収別					
			～300万	300～500万	500～700万	700～1,000万	1,000～1,500万	1,500万～
1位	家計を圧迫するから	61.9	67.7	65.5	63.7	53.9	48.0	35.8
2位	景気が悪くなると思うから	31.2	29.5	27.7	33.1	33.4	36.4	39.6
3位	増税しても財源不足は変わらないと思うから	30.9	27.0	30.0	34.1	33.2	36.4	22.6

■【「できれば見送りしてほしい」と回答した方への質問】
消費増税はいつ頃であれば良いか（年代別）

(%)

	全体						
	~20代	30代	40代	50代	60代	70代~	
1年後	1.7	2.8	2.3	0.5	1.4	2.0	4.2
2年後	3.5	0.9	1.4	2.7	4.4	4.7	5.1
3年後	10.8	5.6	9.3	10.5	10.4	13.2	14.4
5年後	17.9	17.8	18.2	17.8	16.1	18.0	25.4
10年後	25.5	37.4	29.9	25.4	24.1	22.4	20.3

**年代が下がるほど
先延ばしを希望する傾向がある**

<ニッセイ基礎研究所 経済研究部 主席研究員 齋藤太郎のコメント>



消費増税について約半数の方が「良いことだ」「仕方がないことだ」と回答しましたが、そのうち約8割が「社会保障制度が心配だから」をその理由に挙げています。年金、医療、介護等の社会保障制度の持続可能性に不安を持っている方が多いことがうかがえます。

一方、20代以下、世帯年収300万円未満の方は約6割が「できれば見送りしてほしい」「絶対やめてほしい」と回答しています。消費税には収入の少ない人ほど収入に対する税負担の割合が高くなる「逆進性」の問題があることを反映したものとといえるでしょう。

質問5 消費増税によって、景気はどのように思いますか？（回答者数：5,433名）

質問6 消費増税に伴って節約しますか？（回答者数：5,433名）

質問7 消費税は何%が望ましいと思いますか？（回答者数：5,433名）

- 消費増税によって景気が「悪くなる」と回答した方が47.9%となり、一方で「変わらない」と回答した方は49.1%となった。
- 消費増税に伴って、「節約する」と回答した方は、全体の約6割となった。
-男女別で見ると、女性の方が6.5ポイント高かった。
- 消費税の望ましい税率は「5%」と回答した方が、30.6%となり最も多かった。
-「0%」と回答した方は16.7%となり、約8割の方が消費税は必要と回答した。

■消費増税によって景気はどのように思うか（世帯年収別）

(%)

	全体						
	~300万	300~500万	500~700万	700~1,000万	1,000~1,500万	1,500万~	
良くなる	3.1	6.3	2.0	2.7	1.6	2.2	1.8
悪くなる	47.9	51.8	47.6	47.5	46.2	44.9	42.8
変わらない	49.1	41.9	50.4	49.9	52.2	52.9	55.4

**「悪くなる」と回答した方が全体の約5割となり、
「変わらない」と回答した方も全体の約5割**

■消費増税に伴い節約するか（男女別）

(%)

	全体		
		男性	女性
節約する	64.8	61.8	68.3
節約しない	35.2	38.2	31.7

女性の方が「節約する」と回答した方が 6.5 ポイント高かった

■消費税は何%が望ましいか（年代別）

(%)

	全体							
		～20代	30代	40代	50代	60代	70代～	
0%	16.7	23.5	13.7	18.0	17.0	14.5	16.8	
3%	5.7	9.7	9.4	6.8	3.5	3.3	6.4	
5%	30.6	35.5	35.6	31.3	29.8	28.7	24.3	
8%	12.2	10.5	10.5	10.6	12.9	13.0	16.0	
10%	28.6	18.3	26.2	26.9	29.7	33.5	31.4	
15%	3.3	0.8	3.3	3.0	3.8	4.4	2.7	
20%	2.8	1.7	1.3	3.5	3.4	2.6	2.3	

全体の約 8 割が消費税を必要と回答

■消費税は何%が望ましいか（世帯年収別）

(%)

	全体							
		～300万	300～500万	500～700万	700～1,000万	1,000～1,500万	1,500万～	
0%	16.7	22.6	16.3	16.0	13.9	11.9	12.6	
3%	5.7	7.9	6.6	5.2	5.5	1.8	0.9	
5%	30.6	31.1	33.1	33.4	29.4	24.9	17.1	
8%	12.2	13.1	12.8	12.5	11.2	10.5	9.0	
10%	28.6	21.9	26.3	26.3	33.5	40.4	45.5	
15%	3.3	2.0	2.9	3.3	4.1	5.2	6.8	
20%	2.8	1.4	2.0	3.3	2.4	5.4	8.1	

世帯年収に比例して「10%」と回答した方が多かった

「5%」と回答した方が、最も多い

<ニッセイ基礎研究所 経済研究部 主席研究員 齋藤太郎のコメント>

消費増税によって景気が「悪くなる」と回答した方は全体の 5 割弱でしたが、その一方で消費増税に伴って「節約する」と回答した方は全体の 6 割以上、女性は 7 割近くとなりました。消費増税後に節約志向が高まることによって、個人消費がある程度落ち込むことは避けられないでしょう。

- 質問 8 消費増税を見越した買い物をしますか（しましたか）？（回答者数：5,433名）
 質問 9 【質問 8 で「買い物をする（した）」と回答した方への質問】
 消費増税を見越して何を購入しますか（しましたか）？（回答者数：1,535名）
 質問 10 【質問 8 で「買い物する予定はない」と回答した方への質問】
 その理由は何ですか？（回答者数：3,557名）

○消費増税を見越した買い物をする（した）と回答した方は 28.8%となり、8%への増税前に実施した 2014 年のアンケートと比較して、4 ポイント減少した。
 ○買う物として最も多かったのは、今回と 2014 年と同様に「家電製品」となった。
 -2014 年 2 位だった「車・バイク」は今回 4 位に順位を下げたが、「日用品(洗剤等)」「家・マンション」が順位を上げた。
 ○消費増税を見越した買い物をしない理由は、「増税後にセールがありそうだから」が 22.1%と最も多かった。

■消費増税を見越した買い物をするか（男女別）

(%)

	全体			《参考》2014年		
		男性	女性		男性	女性
買い物をする（した）	28.8	27.1	31.2	32.8	35.5	29.6
買い物をする予定はない	71.2	72.9	68.8	67.2	64.5	70.4

2014 年に 5%から 8%に消費増税した時と比較して 4 ポイント減少

■消費増税を見越して何をかうのか

《参考》2014 年

順位	内容
1位	家電製品
2位	日用品（洗剤等）
3位	家・マンション
4位	車・バイク
5位	食料品

順位	内容
1位	家電製品
2位	車・バイク
3位	日用品(洗剤等)
4位	家・マンション
5位	洋服・鞆・アクセサリー

■消費増税を見越した買い物をしない理由（男女別）

(%)

順位	内容	全体		
			男性	女性
1位	増税後にセールがありそうだから	22.1	21.4	23.0
2位	値上がりが気にならないから	16.6	20.0	12.4
3位	軽減税率等国の施策があるから	13.4	14.9	11.6

男女共に「増税後にセールがありそうだから」が 1 位

<ニッセイ基礎研究所 経済研究部 主席研究員 斎藤太郎のコメント>

消費増税を見越した買い物をする（した）方が 2014 年の消費増税時よりも減少したことについては以下のような理由が考えられます。

- ①税率の引上げ幅（8→10%）が 2014 年（5→8%）よりも小さく、食料品などに軽減税率が導入されること
- ②家、車、家電製品などは 2014 年の増税前に購入している方が多いこと
- ③ポイント還元、自動車減税などの消費増税対策によって、前倒しで購入するメリットが小さくなっていること

ただし、消費増税を見越した買い物は増税直前に集中する傾向があります。2014 年に比べれば規模は小さいものの、9 月末にかけて日用品を中心に駆け込み需要が発生することが予想されます。

以 上